

メキシコ研修レポート Julio de 2018

鈴木 萌

7 月に入り、帰国まで残りわずかとなりました。今回のレポートでは、お土産を買いに出かけた民芸品市場で出会ったメキシコの民芸品を紹介したいと思います。



オリナラ塗り Laca de Olinala

オリナラ塗りはゲレロ州オリナラ村発祥の漆細工です。「漆」と聞くと、渋いイメージを持つ方が多いと思うのですが、メキシコの漆塗りは、日本の漆細工とはかなり異なりとにかくカラフルです。天然素材で作った色付き漆の上から鮮やかな絵を重ね、上品さとポップさを併せ持った華やかな作品が多く作られています。

動物や植物をモチーフにし、前面に細かい絵柄が彫られているのが特徴です。色とりどりの花が描かれた華やかなもの、グラデーションの美しいもの、動物をモチーフにしたものと、柄もさまざままでみているだけでも楽しめます。

タラベラ焼き Talavera

タラベラ焼きは、地中海に始まり、イスラムの影響を受けてスペインで発展した「マヨリカ焼き」の技術と、もともとメキシコに存在していた陶器の技術が合わさって作り出されました。メキシコの民芸品の中で、植民地時代から作り始められたタラベラ焼きは比較的新しいものですが、その鮮やかさから、「メキシコらしさ」を象徴する存在として、多くのメキシコ人に愛されている他、メキシコを代表する陶器として世界中の人々に親しまれています。





生命の樹 Árbol de la vida

生命の樹は、メキシコシティー周辺地域で生産されている、木の形の焼きもの装飾の一種です。旧約聖書のエピソードをモチーフにしており、人間や動物など様々な生命が枝葉となり一本の木に繋がり、キリスト教に基づいた世界観を表現しています。